

現地での教育

ハワイ大学マノア校の「NICE プログラム」は、グループワークとプレゼンテーションを通じたスピーキングスキル向上に注力したものとなっており、学生はプレイスメントテストを経てレベルに応じた授業を受講し、学外でのアクティビティやフラのワークショップ等、現地の文化体験も織り交ぜながら、英語漬けの環境を経験した。

参加した学生らは、このプログラムに参加しつつ、本大学英語教育センター教員から英語による日報の添削指導を毎日受け、学習・生活のアドバイスの指導を受けながら、積極的に取り組み、英語力を伸ばした。

学生の現地調査

現地調査 1

歴史的背景や現在の貿易の特徴を検討し、ホノルル港の特色として以下のような事柄が得られた。

- ・戦争による効果としては、港が米軍によって使用されたことでインフラの改善や港の浚渫が行われ、戦争終了後変換されるときには戦前より規模が広がり、設備が向上した。
- ・戦後から現在にかけても河川港湾法により、ハワイを代表する規模に変化していった。また港周辺にはいくもの物流会社が集まり物流拠点の中心として発展していった。
- ・ホノルル港における貿易は、輸入額が輸出額に比べて極めて多い。2003年のデータでは輸入額が輸出額の5倍以上となっている。それはリゾート地として栄えているため、生産能力がなく、ほとんどの商品を輸入に頼っていることが理由である。
- ・ハワイの輸入額は観光客に依存している。2008年のリーマンショックの影響を受け、アロハ航空が破綻しハワイへの便の数が減ったことにより観光客も減少し、観光客がいないとハワイ内で物が売れない構造となっている。
- ・ハワイの貿易相手としては、昔からつながりが強いインドネシアと日本が特に多い。そのほかの諸外国とも貿易を行っているが、貿易額の差が約2倍開いている。

現地調査 2

アメリカ人の寛大な心や、余裕の振舞い、フレンドリーな態度はどこから来るのだろうか？という疑問から、躰の違いについて調査し、以下のような結果が見られた。

- ・ハワイの人たちの躰は、日本人と異なる。
- ・褒めて伸ばし、言葉で理解させる躰の方針をとっている人が多い。
- ・この結果から、アメリカ人の自由で豊かな心が育まれている。
- ・少なからず、子育てでは周りの目を気にする人が両国多い。